

## 「名寄市水道事業経営戦略（素案）」の概要

水道事業では、市民の日常生活に欠かせない水道水を、常に安定した量を確保して供給することが求められ、適切な水質管理を行い、災害の際にも維持することが重要であり、適正な水道料金によって安定的な水供給を実現するため、計画的に事業を行う必要があります。

これまでの名寄市水道事業中期経営計画（平成 24 年～28 年）の次期計画として、持続可能な事業運営を行うため、経営の効率化・健全化を目指し、中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」を策定いたします。

### 1. 策定期間及び検証等

#### ①平成 29 年度～平成 38 年度（10 年間）

※本経営戦略の公表が平成 30 年 3 月となりましたことについては、平成 28 年度に中期経営計画に引き続く本経営戦略の策定に取り組んできましたが、今後 10 年の計画期間の核となる事業の投資計画について、事業内容・実施時期等の検討状況を見極める必要があったことから、平成 30 年 3 月に経営戦略を公表することとなりました。



#### ②3～4 年で見直し、状況は広報・市ホームページで公表

### 2. 事業の現状と課題

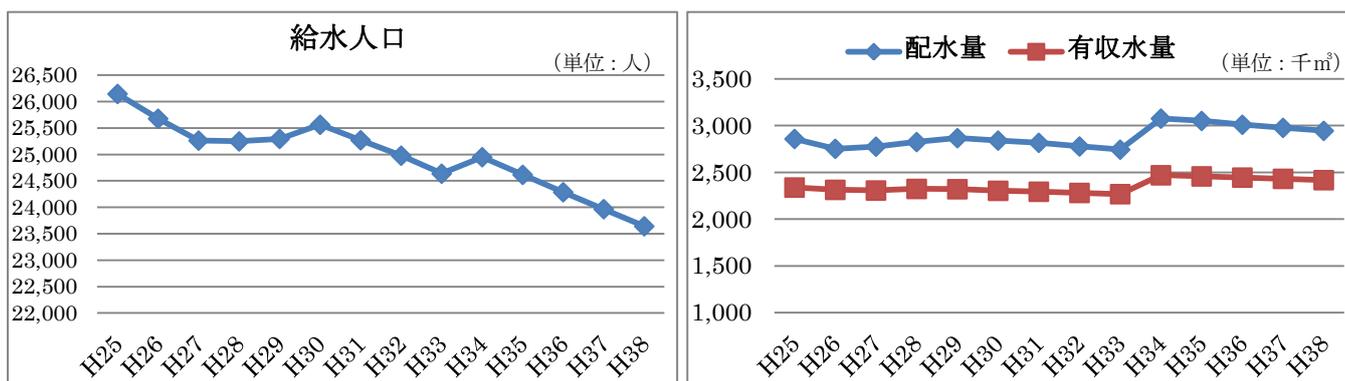
〔施設の状況〕

施設状況（平成 28 年度）							
浄水場（7 か所）	緑丘	風連	瑞穂	川西	智恵文中央	智恵文八幡	風連日進
水源	表流水（名寄川）	地下水	地下水	地下水	地下水	地下水	表流水
水道管路延長	導水管延長 4.03km		送水管延長 0.80km		配水管延長 250.59km		
耐用年数超管路延長	導水管延長 0.14km		送水管延長 0km		配水管延長 67.48km		
1 日最大給水量	8,742m <sup>3</sup> /日		施設利用率			63.87%	
水道料金	口径 13mm・10m <sup>3</sup> /月		1,970円		口径 13mm・20m <sup>3</sup> /月		4,340円

平成 18 年 3 月名寄・風連地区の事業統合を行い、平成 20 年 4 月に旧名寄市と旧風連町の水道料金を統一しています。平成 28 年 4 月には 3 地区の簡易水道事業を事業統合し、現在 7 か所の浄水場、水道管路延長 255.42m の施設で事業運営しています。

〔事業の動向〕

①人口・水量等の動向



給水人口は減少傾向にあり、節水意識の高まりや節水家電の普及などから有収水量は減少しています。(H28までは実績値、H29からは予測値。H34以降自衛隊への送水分を含め予測)

②収益的収支・資本的収支の推移

		(千円)						
		H24決算	H25決算	H26決算	H27決算	H28決算	H24-28合計	H24-28平均
収益的収支	営業収益	578,286	562,409	575,467	553,875	537,378	2,807,415	561,483
	うち料金収入	517,463	512,468	506,649	505,445	509,368	2,551,393	510,279
	営業外収益	3,466	4,050	43,694	48,944	89,535	189,689	37,938
	うち長期前受金戻入			39,074	44,194	70,596	153,864	51,288
	<b>水道事業収益計</b>	<b>581,752</b>	<b>566,459</b>	<b>619,161</b>	<b>602,819</b>	<b>626,913</b>	<b>2,997,104</b>	<b>599,421</b>
	営業費用	515,022	506,269	510,409	515,475	585,493	2,632,668	526,534
	うち職員給与と費	88,772	91,626	85,154	86,893	84,291	436,736	87,347
	うち減価償却費	217,328	225,862	250,583	259,190	284,347	1,237,310	247,462
	営業外費用	73,219	71,165	68,811	66,438	67,935	347,568	69,514
	うち支払利息	72,411	70,613	68,360	66,056	67,248	344,688	68,938
<b>水道事業費用計</b>	<b>588,241</b>	<b>577,434</b>	<b>579,220</b>	<b>581,913</b>	<b>653,428</b>	<b>2,980,236</b>	<b>596,047</b>	
経常損益	▲ 6,489	▲ 10,975	39,941	20,906	▲ 26,515	16,868	3,374	
特別利益	57	10,272	3,275	12,206	29,908	55,718	11,144	
特別損失	0	3,894	92,606	0	691	97,191	19,438	
<b>当年度純損益</b>	<b>▲ 6,432</b>	<b>▲ 4,597</b>	<b>▲ 49,390</b>	<b>33,112</b>	<b>2,702</b>	<b>▲ 24,605</b>	<b>▲ 4,921</b>	
未処分利益剰余金	▲ 6,432	▲ 11,029	46,670	79,782	82,484			
資本的収支	企業債	101,900	119,700	143,700	136,900	245,700	747,900	149,580
	他会計出資金	93,142	63,900	63,100	68,078	13,174	301,394	60,279
	他会計借入金	0	25,380	26,850	27,000	0	79,230	15,846
	他会計補助金	9,203	9,196	9,162	9,144	13,434	50,139	10,028
	他会計負担金	10,351	11,681	10,232	5,786	1,384	39,434	7,887
	国補助金	25,151	34,468	56,117	64,197	69,934	249,867	49,973
	その他	35,498	38,998	35,883	30,493	32,369	173,241	34,648
	<b>資本的収入計</b>	<b>275,245</b>	<b>303,323</b>	<b>345,044</b>	<b>341,598</b>	<b>375,995</b>	<b>1,641,205</b>	<b>328,241</b>
	建設改良費	378,531	400,669	389,788	381,823	432,108	1,982,919	396,584
	企業債償還金	185,107	191,037	198,956	205,981	221,648	1,002,729	200,546
他会計借入金返還金	0	0	1,010	2,725	5,038	8,773	1,755	
<b>資本的支出計</b>	<b>563,638</b>	<b>591,706</b>	<b>589,754</b>	<b>590,529</b>	<b>658,794</b>	<b>2,994,421</b>	<b>598,884</b>	
差引不足額	▲ 288,393	▲ 288,383	▲ 244,710	▲ 248,931	▲ 282,799	▲ 1,353,216	▲ 270,643	
補填財源	288,393	288,383	244,710	248,931	282,799	1,353,216	270,643	

収益的収支では、H26 会計制度改正の影響により、H28 には当年度純利益となり利益剰余金を計上していますが、経常損益がマイナスになっていることから、H29 以降も損失が見込まれます。

資本的収支では、老朽化に伴う施設の更新費用を企業債に頼ることとなるため、収支を均衡させ安定的に事業を継続するための計画を立てることが求められています。

### 3. 投資・財政計画

#### (1) 投資・費用、財源に関する方針・目標

	検討方針	目 標
投 資 費 用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優先度の高い事業を実施し、投資水準の抑制、平準化を図る</li> <li>・老朽化していく施設の安定的な維持管理のため、経費は一定程度増加が必要</li> <li>・有収率向上に向けて漏水対策を強化するための費用を確保</li> <li>・市民負担増を抑えるため、継続的にコスト削減努力を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有収率の向上</li> <li>・老朽管更新率の向上</li> <li>・施設、管路の維持管理を着実にを行う</li> </ul>
財 源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽設備の維持管理費用や再投資等賄うため、料金水準の見直しが必要</li> <li>・建設改良費に対する企業債の割合を見直し、企業債増加の抑制を検討</li> <li>・企業債償還期間の見直しも検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経常収支比率は平均 100%以上、累積欠損金ゼロを目標とする水準</li> <li>・建設改良費に対する企業債充当率を抑制し企業債残高を圧縮</li> </ul>

#### 【建設改良費の内訳】

(千円：税込)

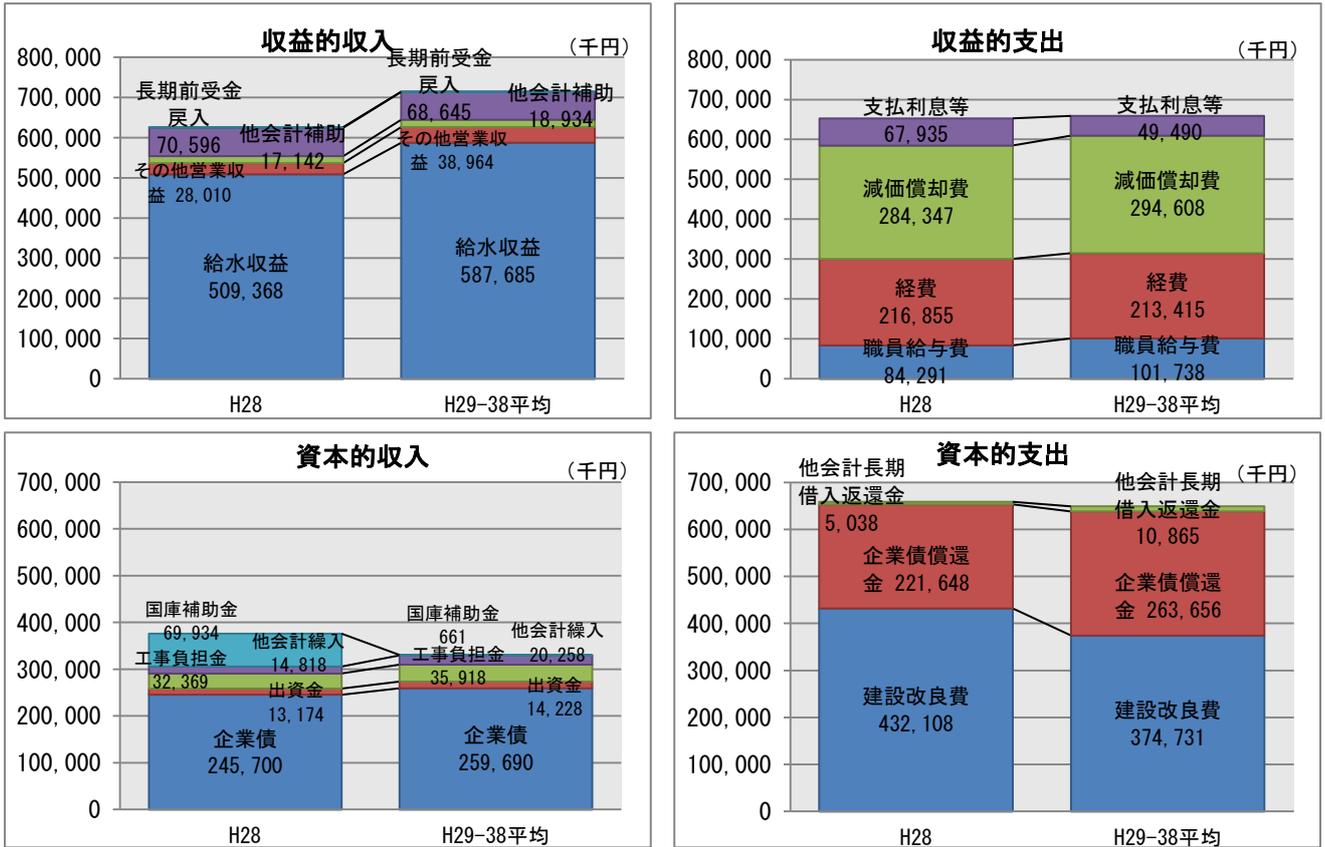
	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	計
水源開発事業	19,833	25,667	0	0	0	0	0	0	0	0	45,500
第2期拡張事業	10,607	0	23,803	171,193	260,993	120,000	113,800	136,000	127,950	117,700	1,082,046
配水管網整備事業	56,513	20,000	20,100	20,100	20,100	18,100	20,100	20,100	20,100	20,100	235,313
老朽管更新事業	72,027	91,010	95,700	44,600	80,400	66,700	65,600	44,800	54,100	63,000	677,937
浄水場施設改修	157,885	63,450	87,880	79,480	49,700	36,300	54,570	76,400	58,820	62,900	727,385
水質検査機器更新	0	5,184	19,610	17,074	5,600	19,000	13,000	10,800	10,500	5,400	106,168
量水器取替	65,406	81,932	76,556	75,716	74,876	75,076	75,555	67,484	75,275	76,556	744,432
その他	26,420	19,808	12,800	8,500	12,500	11,500	6,500	6,500	9,000	15,000	128,528
<b>建設改良費 計</b>	<b>408,691</b>	<b>307,051</b>	<b>336,449</b>	<b>416,663</b>	<b>504,169</b>	<b>346,676</b>	<b>349,125</b>	<b>362,084</b>	<b>355,745</b>	<b>360,656</b>	<b>3,747,309</b>

#### 【建設改良費財源の内訳】

(千円：税込)

	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	計
企業債	218,100	181,200	216,200	313,600	405,400	231,200	256,400	265,500	251,300	258,000	2,596,900
出資金	6,611	8,555	0	0	0	0	0	0	0	0	15,166
工事負担金	34,232	41,066	37,841	37,727	33,812	33,840	34,787	35,095	36,750	34,032	359,182
他会計繰入金	57,694	8,151	12,848	13,022	8,227	7,599	7,281	17,000	13,536	9,913	155,271
国庫補助金	6,611	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,611
自己財源	85,443	68,079	69,560	52,314	56,730	74,037	50,657	44,489	54,159	58,711	614,179
<b>建設改良費財源計</b>	<b>408,691</b>	<b>307,051</b>	<b>336,449</b>	<b>416,663</b>	<b>504,169</b>	<b>346,676</b>	<b>349,125</b>	<b>362,084</b>	<b>355,745</b>	<b>360,656</b>	<b>3,747,309</b>

(2) 投資・財政の見通し



投資計画の中では、委託料・修繕費等の抑制や、投資事業の一部先送りによってコストの低減を図ることとしていますが、これらとあわせて、有収率の向上によるコストの抑制や、業務改善等の取組みを継続的に実施し、安定的な事業運営につなげていくこととします。

(3) 経営戦略と料金改定

本経営戦略の投資・財政計画は、安定的に施設・管路の維持管理や投資事業を行う現段階での事業計画に基づき投資額等を積算し、それに見合う収入とするため、仮試算で料金改定を含め収入額を積算することで、収支を均衡させた経営計画となっています。

料金改定については、現在、第2期拡張事業など施工時期が未確定な事業があることから、今後、投資・財政計画を精査し、あらためて上下水道事業経営審議会に諮るなど再検討し、慎重に進めることとします。

4. 効率化・経営健全化の取組

- 経営改革への取組 業務効率化、料金の適正化、行財政改革に基づく職員配置・給与適正化等
- 人材育成への取組 職員研修の充実、計画的な人員配置による技術継承
- 給与の適正化
- 広域化及び民間の資金・ノウハウの活用

(名寄市建設水道部上下水道室業務課 TEL01655-3-2511 : 風連 内線 208)